

私の養成所の概況

東京昭和保姆養成所 土 川 五 郎

お尋ねがありました私の學校では大いした事も致して居りませんが、唯最も力を入れて居りますありのまゝを、平時此の時局に分けて申上げて見ます。

私の立て、居る東京昭和保姆養成所は、昭和二年五月の創立にかゝり、爾來茲に十二年間、卒業生は六百五十を超へて居ります。皆それぐよく眞劍に務めて居る事存じます。其よく務めて居る事を耳にします度に、皆先輩の方の指導宜しきを得たからだご何時も感謝して居る次第であります。

抑々我養成所を設けましたのは、私が多年の経験から、よい、保姆が欲しい、よい幼児はよい保姆によつてのみ得らるゝ、よい保姆を作るには、よい教師でなければならぬ、眞劍で造詣の深い人格者によらねばならぬ。かく考へて物色した所、幸によい先生が得られて茲に十二年、其間僅かに二名の更迭ありしのみ終始一貫日々心よく教養の任に當つて下さいますので、生徒の眞面目さが養はれ行くので私は常に感謝と共に喜んで居るのであります。

諸先生が私の氣持ちごしつくり合つて茲に一つの雰意氣が醸され、修業年限僅かに一年ごはいへ一つの校風が毎年作られる様に見えます。別に八ヶ間敷い事も申しませんが、よく出席して眞面目な學習態度を示してくれまして、時に難問題を提出し遭遇せしめて見るに心よく之を仕遂げてくれます。

教室に於てもいつも私共を心よく迎へ、眞劍に授業を受け又柔かき親しみのある様子で私共を送つてくれます。教

室内はいつも和氣に満ちてよく引き締まつて居るので、私はありのまゝの嬉しき有難さを生徒に吐露する事もありません。

入學した當初は暗い顔も大分ありまして私と生徒との間に何か幕でもある様に感じられますが、私の話しの進むにつれ、遊戯で親しみの増すに従つて其幕は何時もなく取れ、遠足や觀劇や音樂會等、同伴見學によつて一層の親しみを増し、三學期に到りますと何とも云へぬ親しさを増し、卒業して出すのが心ひかれる思ひを致すのが常であります。

以上が私と生徒との間の概況であります。

さて毎日の授業について一々述べる譯にも参りません。唯こゝに入學當初の取扱ひについて摘記して見ます。この入學當初が最も大切でありまして、

入學式に於いて第一に保證人又は父兄の前で養成所を立てました動機並に趣意を、一年間に勉學修養する目的を明らかに説明し、第二に人格が、保育を云はず凡て人生の源泉であり、これに力を注ぐべき事や、第三に知識技能については保母となり母となりなつて實際に役立つのを主眼とする。

以上の三點を説明し、保證人と生徒とに熟考の餘地を與へ去就の自由を許します。

入學後の一週間、私の心持ちと學校の認識を十分にさせること、人生觀を臆氣ながら感得し自己の人としての尊さ、反省について知得せしめ出發點を致します。私の教室に於ける教授の外に、遊戯十二時間、これによつて私の親しみが出來朗らかな氣分に打たれる様になります。これは私と生徒との結び付く近道であります。第二週より規定の授業に移り、授業に對しては十分能率の上がる様に校長と共に努力する。他の教師缺席の場合は、私が補缺して寸暇も與へない様にす。この方針がやがて生徒を真劍に導くことになる。

修身 幼児の感受性の強いこと、母や保姆の性行が其まゝ移り行く偉大なる力がある事を實例によつて話す時、自分の缺點も其まゝ移りて幼児を毒する事に思ひを浮べ、自制自肅の必要を悟らしむ。こゝに反省なり修養なりの必要を感じしめて修身の出発點とする。

生徒は徳目は知るも、實行する事極めて微力である故に、實際より理論に行く。材料は新聞記載の事項を取り、又は電車汽車其他見聞したるものゝ中より摘出して之れを批判し、出來得るものは之れを實行に移し其實行より得たる快感の實感より進めて行く。

又之れに保育と實際な關係を結び付け、兩々相俟つて實行しつゝ自分の修養について興味と道德愛好の念を熾にせんむ努めつゝあり。

特に行つて居る事ども

一、私は自分の經驗をありのまゝに話して生徒の材料として提供する。

二、私は近江聖人の母、大石良雄の忍耐宏量、識見、深慮等、仙臺秋の淺岡、春日局等の誠忠穩忍等講談等を打ち混へて先づ女子の感性を統制する事に力を致す如く歴史的人物の興味ある話題を挿へて訓話しつゝ保育の實際上に及ぼす。

三、學校以外によき講演ある時は、時に全生徒を連れて其講話をきかしめ、生徒に聞き方又其保育に應用すべき點を指導す。

四、文展又は音樂會(眞の音樂を感じしむる爲めの)に引率して觀賞を擅にせしむ。

五、觀劇毎年一二回歌舞伎座に名優のよき筋の劇を見せしめる。

此時は豫め筋書により、本筋及其夫れ々々の俳優の表出方等特徴を指示して豫備知識を作りて觀劇に引率する(これは

金錢のあまりかゝりません様により場所で見ると便法によりて)

六、掃除 實習中は寒暑を問はず保育室より遊戯室便所に至る迄掃除を爲し、硝子は寒風肌を突く如き時も必ず實行させ、床は水によつて拭はしめる。

此の時に與ふる詞

1、人の嫌ふ所は自ら進んで之れに當る。

2、徹底的に掃除を行ふ。

3、幼兒の氣分を爽かに健康を増進する爲めに掃除をする。

以上の三點から(1)困難を凌ぐ勇氣、(2)掃除を徹底させた時の快感(3)自己を捨て、犠牲になり全力を擧げて事に従ふ犠牲的精神の修養なることを痛感す。

非常時局に對しては、平素に前述せる各項を一層強化する事が最も大切であるを考へる。

修身に於ては常に、明治天皇の御製を拜聽せしめ、皇室國家に對し國民としての自分を深く考へて凡ての行爲を父母に、陛下に對し忠良ならしむる方に歸納せしめつゝあり。

保育の仕事が神聖なる尊き業である事を知らしめつゝある上に、殊に今時では二三十年後は國民即ち今の幼兒が將來國家を擔ふべきもの又列強等の複雑な關係を知らしめて尙將來如何なる難局に當らねばならない此の幼兒を強く正しく育つべき義務ありとの信念の下に保育せねばならぬ。故に

心身共に強く正しく育つるには如何にすべきかを教へ、又自ら強く正しくして身を以て率ゐる事を自覺せしむ。

外に一、時局に對して下し賜へる勅語を奉讀し近衛首相の演說聲明について十分に理解せしめ、二、新聞紙上に表はれ

たる戦局に我皇軍の奮闘については、地圖等によりて其進展を記し其苦闘に其捷利を感謝せしめ、戦死者又は戦地に
ある將士の其子供に與へたる遺書、母を以て父を以ての死せる將士に對する感激に満ちたる手紙、戦地の將士より故郷の
父母に致せる孝心等其都度これを話題として十分に察知せしむる等、以上によつて自己の修養資料とする。又幼児が如何
に時局の影響を受くるかを觀察せしめて其遊びを助け導きて深き印象を與へる。

保姆養成の重要點

ランバス女學院保育專修部　　マーガレット・エム・クツク

近來保姆養成事業が、英文學、音樂、國文學等の所謂専門教育教師の養成事業同様に、或はそれ以上に必要なものとし
て追々社會に認めらるゝに至りました事はまことに喜ばしい事です。一體各専門教師の養成にはその各専門課目の習得以
外に教育者として、教育學、心理學等が必須課目として課せられ、亦その教養學歷等の程度にも相當なる制定がきめられ
て居ります。然るに人間の根本教育である幼児教育に携る保姆の資格に就いては從來全く無關心に扱はれて來て居りまし
た。勿論今日では相當に改新されて來て居りますが私は將來の幼児教育者の養成には尙この點を強調し向上させたいと願
ふ者であります。ついでには左の諸點を舉げてみました。

一、幼稚園教育及びナースリースクール教育は一般教育の基礎である事を確認する事、身體、知能、情緒、社交の發達
は即ち教育であるからであります。